

(2) 高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理

平成17営業年度の維持、修繕、災害復旧その他の管理事業については、約1,348億円の事業費により、安全で安心できる高速道路を良好に管理してまいります。

- ・平成17営業年度の管理延長は、北海道縦貫自動車道などを含む計34道路3,345Km（平成17年10月1日現在）の区間で、これらの区間に対し、安全で快適な走行環境を確保する道路機能の向上、交通安全対策等に必要な修繕の事業費約363億円、道路を良好な状態に保つための清掃、点検、構造物や施設設備の補修等に必要な維持その他の管理の費用約985億円により、良好な管理を行ってまいります。
- ・平成14年度から3ヵ年計画で取り組んできたコスト削減計画については、道路の安全と円滑な交通を確保しつつ「人件費単価や人員配置体制の見直し」、「清掃頻度の見直し」等、可能なものは速やかに実施する方針のもと、約3割のコスト削減を達成します。
- ・中越地震被災による関越道、北陸道の本復旧作業を鋭意進めており、復旧工事が完成した箇所から順次規制を解除し、年内に4車線全面完了する計画です。また、地震に強い道路を目指し、地震防災対策を強化するために、古い基準を適用した橋梁の耐震補強工事を進めます。

【新潟中越地震による被災地の復旧状況（関越自動車道越後川口～堀之内間）】

《震災直後の状況》



《復旧後の完成状況》



- ・いつも、お客様に安全と快適を実感していただけるよう、常に良好かつ快適な路線の維持に努めるとともに、騒音低減効果及び雨天時の事故防止効果の高い高機能舗装の整備や重大事故防止対策として強化型防護柵の整備を進めます。
- ・日本道路公団が導入した各種割引制度を引き継ぎ、ＥＴＣのメリットを多くのお客様に享受していただくため、更なる弾力的な料金施策の導入に努めます。
- ・道路構造物の老朽化への対応として、道路構造物の延命化や管理コストの平準化、ライフサイクルコスト※^１の最小化を図るマネジメント手法を早急に導入する等、更新時代に対応した効率的・効果的な道路管理に取り組みます。

※１：構造物等の耐用期間中に係るコストの総額。建設費、管理費、維持補修費等から構成される。